

富山県介護福祉士養成校協会の発展的解消について

富山県介護福祉士養成校協会

1. 介護福祉士養成教育の 30 年

- 富山県における介護福祉士養成教育は、社会福祉士及び介護福祉士法(S62)を受けて、富山女子短期大学福祉学科(H8)で開始された。(定員 80 名)
- 続けて専門学校 2 校、短期大学 1 校で養成課程が設置され、ピーク時には 4 校の入学者が合計 255 名を数え(H15)、今日まで 3,899 名の介護福祉士を輩出してきた。
- その後18歳人口減少と福祉離れの中で、定員縮小と募集停止が相次ぎ、令和7年度の入学者は合計82名(うち留学生 22 名)、定員充足率 58.6%まで落ち込んでいる。

2. 富山県介護福祉士養成校協会(以下「協会」)の 22 年

- 協会は平成15年に県内全ての介護福祉士養成校4校で設立し、「養成教育・研究の充実」、「資質の高い介護福祉士の養成」、「富山県の介護の質向上、福祉の増進への寄与」をめざす活動を展開してきた。
- 県内では、県委託の福祉人材確保事業(出前講座・高校生用 PR 冊子・フォーラム・介護職員研修など)をはじめ、福祉団体との連絡協議会、福祉教育懇談会、介護の日参加、県知事への要望書提出など、協会の目的達成に向けて精力的に取り組んできた。
- 県外養成校との関係では富山県の協会は、日本介護福祉士養成施設協会や東海北陸ブロック養成校組織の中においても、組織運営や教育実践の先進県として、30年にわたり重要な役割を果たしてきた。

3. 富山県介護福祉士養成校協会の解散・発展的解消

- 県内全ての養成校4校でスタートした協会も、先行養成校の退会や新設校の不加入などもあり、令和7年度末までの会員校は2校(うち1校が令和9年度募集停止)となり、存続が困難となったため、令和7年度末をもって活動を停止し解散することとしている。
- 協会は、これまで養成校が培ってきたノウハウ及び関係性を活かして、協会役員を軸として新しい活動組織(以下「新法人」)へと発展的に解消することとしている。

4. 福祉人材養成確保の推進に向けて(新法人の設立)

- 新法人は、「誰もが安心して Well-being な生活を送ることができるよう、富山県における介護人材の教育・研修の発展、多様な福祉人材の確保・育成及びキャリア支援を図ることを目的として、令和 8 年 4 月設立を予定している。
- 事業は、「介護人材の教育・研修事業者へのコンサルテーション及びネットワーク形成」「地域住民、児童生徒への介護の魅力発信、理解促進のための実践活動」「多様な介護人材の参入促進から資格取得までのキャリア形成支援」、「外国人介護人材との共生・共創による Well-being なまちづくりに関する調査研究」などを予定している。